

組み立てかた

手順の流れ ART-310S/ART-210S (1 段) : ❶→❸ ART-320S/ART-220S (2 段)、ART-330S/ART-230S (3 段) : ❶→❷→❸

❷ 上わく (2 段目・3 段目) の組み立て

※手順イラストはART-330S

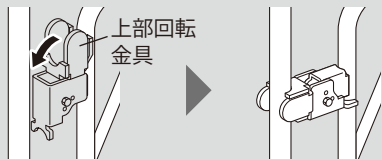
⚠危険

❗ 2段目以上の組み立てや解体、作業時は必ず墜落制止用器具 (安全帯) を装着し、先行手すりわく最上部中央にかけて使用する。

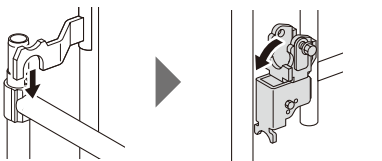
- 1 上わくを下わくに連結します。
連結ピンがロック状態になります。

チェック

下段に取り付けた先行手すりわくの上部回転金具を上わくに取り付けます。

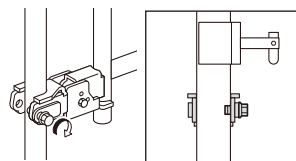


- 2 先行手すりわくを「枠組足場内側面」ラベルを内側にして、取り付けます。



フックを上わくの最上段に掛けます。

下部回転金具を上わくに取り付けます。

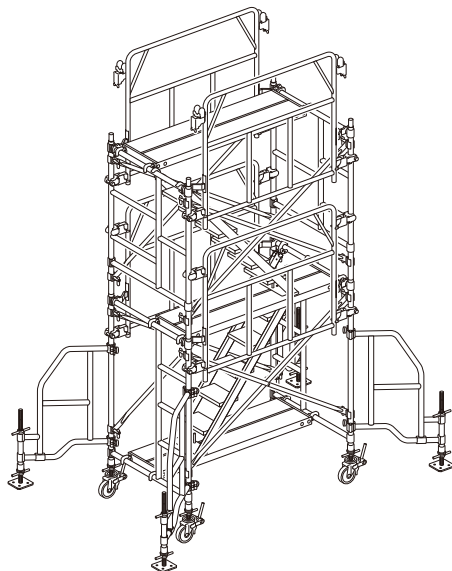


ボルトを回して固定します。

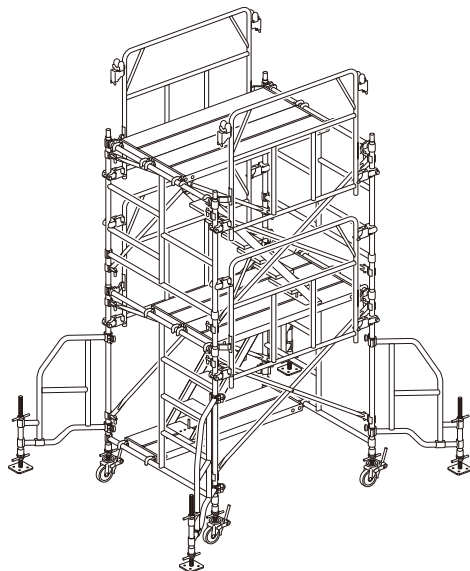
〈ボルトの状態〉

ここまでのかたち (2 段目組み立て時)

ART-2 (2枚板仕様)



ART-3 (3枚板仕様)



❸ 手すりフレーム (最上段) の組み立て

※手順イラストはART-330S

- 1 全開閉足場板を操作シャフトが内側になるようにして、昇降階段の上に取り付けます。

全開閉足場板の取り扱いについて

全開閉足場板のおもて面にある「ハッチ部開閉方法」のラベルのとおり、操作シャフトを内側に引きハッチを開けて、作業床に昇ってください。閉めるときは、以下の手順で行ってください。



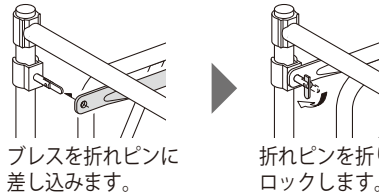
- ①ハッチを起こしながら、
②倒れ止めシャフトを手前に引きます。
- ③ハッチを閉めます。

- 2 手すりフレームを取り付けます。
連結ピンがロック状態になります。

チェック

下段に取り付けた先行手すりわくの上部回転金具を手すりフレームに取り付けます。

- 3 ART 水平ブレスを取り付けます。

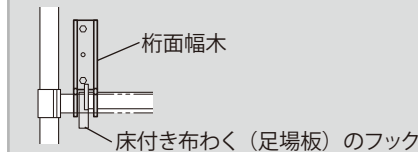


- 4 桁面幅木を取り付けます。

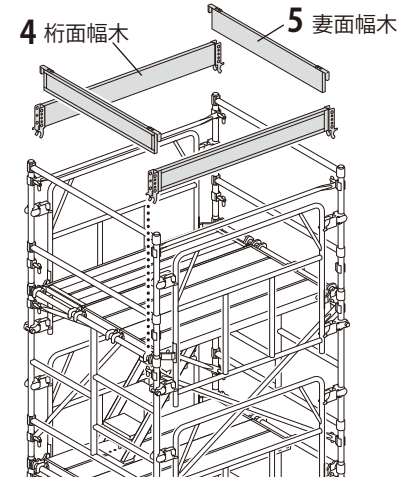
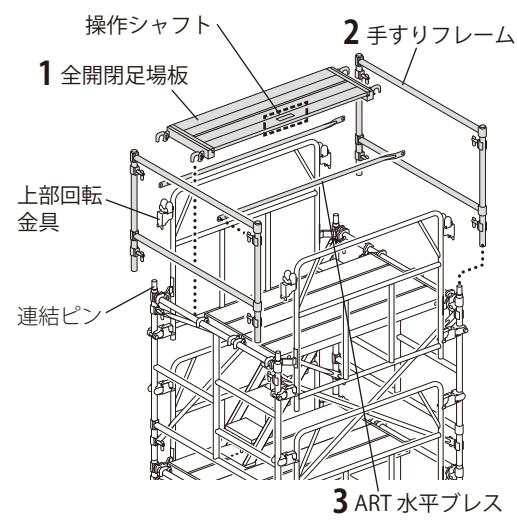
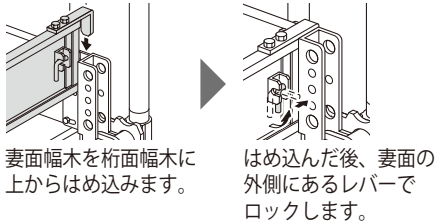


チェック

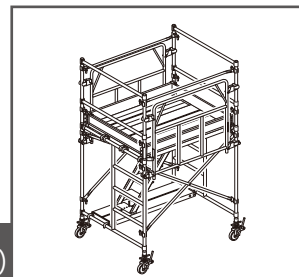
桁面幅木を取り付けるときは、床付き布わく (足場板) のフックをはさみ込むようにして取り付けてください。



- 5 妻面幅木を取り付けます。

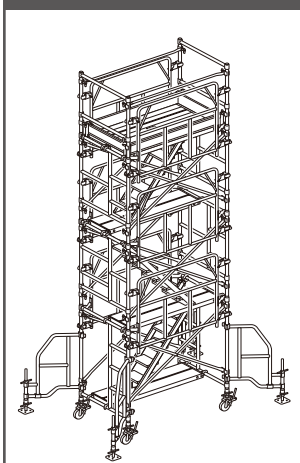


完成図

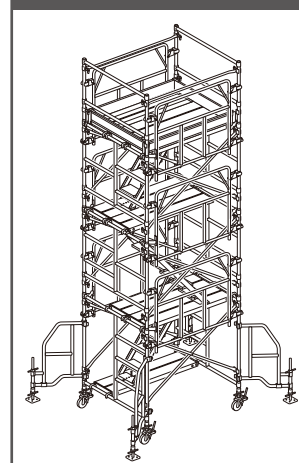


ART-3 (3枚板仕様・1段)

ART-2 (2枚板仕様)



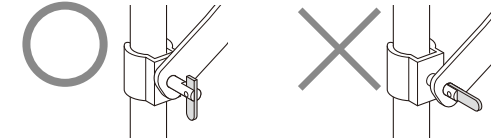
ART-3 (3枚板仕様)



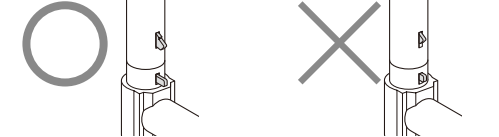
組み立て完了後の確認

組み立てが完了したら、使用する前に以下の点について確認してください。

- キャスターのブレーキのきき具合
- ブレス・昇降階段・手すり・幅木などの取り付け状態
- 最上段の足場板は全て敷かれているか
- 大きな変形 (へこみ・曲がりなど) はないか
- 折れピンのロックが掛かっているか



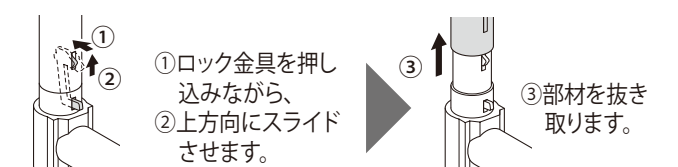
- 水平になっているか
- 連結ピンがロック状態か



※部材の変形は強度低下や予期せぬ事故につながります。変形を発見した場合は、使用を中止してください。

■連結ピンの解除のしかた

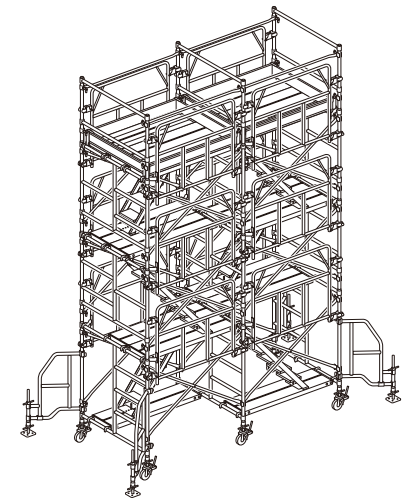
下わく、上わく、手すりフレームを取り外すには、連結ピンのロックを解除する必要があります。



参考情報

連結について

図のようにタワーを連結して組み立てることもできます。



アルインコ 株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1 お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。
※万一乱丁、落丁がございましたら、お取り替えいたします。
※住宅機器事業部の製品は日本での販売を目的として開発・製造・販売 (仕入れ品含む) しております。
他国に輸出される場合は弊社までご相談ください。

2020091-HR